Creative Enzymes®

ネイティブ ストレプトマイセス グリセウス キトサナーゼ

Cat. No. NATE-0125

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	キトサナーゼは、部分脱アセチル化キトサン中のN-アセチル-D-グルコサミンとD-グルコサミン残基の間のβ(1,4)結合のエンドヒドロリシスを触媒します。ストレプトマイセス・グリセウス由来のキトサナーゼは、キトサンとカルボキシメチルセルロースの両方を加水分解する能力があります。これは、ムコール目に属する真菌の細胞壁の溶解に使用されます。いくつかの種類の微生物に存在します。
用途	Streptomyces griseusからのキトサナーゼは、キチン源がキチナーゼおよびキトサナーゼの生産に与える影響を評価する研究に使用されました。Streptomyces griseusからのキトサナーゼは、コロイダルキチンとさまざまな脱アセチル化度のキトサンを用いて、Streptomyces griseus HUT 6037によるキチナーゼおよびキトサナーゼの効果的な生産を調□する研究にも使用されました。Creative Enzymesの酵素は、豆類植物の主要な寄生虫である糸状菌Aphanomyces euteichesの粗細胞壁調製物の加水分解に使用されました。また、バイオコンパチブルなキトサン-アルギン酸ゲルの調製中に、完全に脱N-アセチル化されたキトサンの酵素的加水分解に使用され、キトサンオリゴマー混合物を得るためにも使用されました。
別名	キトサナーゼ; EC 3.2.1.132; 51570-20-8; キトサン N-アセチルグルコサミノヒドロラーゼ

製品情報

由来	ストレプトマイセス・グリセウス
形態	リン酸カリウムバッファー塩を含む凍結乾燥粉末
***EC*番号**	EC 3.2.1.132
***CAS*登□番号**	51570-20-8
活性	>50単位/mgタンパク質（ブラッドフォード）
緩衝液	H2O: 可溶性、透明からやや濁り、無色 (10U/0.3mL)
単位定義	1ユニットは、Osswaldら（1992）の蛍光測定法で測定されたように、pH 5.0、37°Cでキトサンから1μモルのグルコサミンを1分あたり放出します。

保管・発送情報

保存方法	−20°C